

横須賀 手話サークル ひまわり会

- 設立** 昭和44年10月
- 目的** 会則第2条 本会は、会員相互の親睦をはかると共に、聴覚障害者の良き友としてお互いの人格向上を目ざす事を目的とする。
- 会員** 会則第3条 本会は手話を習得し、聴覚障害者の援助をしようとする人、及び会の主旨に賛同する人をもちて組織する。現在の会員数60名。
- 活動** 会則第4条 本会は第2条を達成するため、次に掲げる活動を行なう。
- 1 手話講習会
 - 2 一般市民への聴覚障害者福祉の理解を深める活動
 - 3 研究調査及び関係機関との連絡調整
 - 4 レクリエーション活動の展開
 - 5 その他必要と認める活動

会費 入会金100円 年向1200円 (高校生以下は年向600円)

役員 昭和53年

会長 名畑 裕

副会長 黒崎 信幸

書記 小松 知代

会計 丸山 寿子

会計監査 角谷 ひろみ

収入

支出

	(52年度)	(53年度)		(52年度)	(53年度)
繰越金	5172	36628	研修活動費	154123	180000
市補助金	70000	70000	事務費	53120	50000
社協々	70000	100000	会議費	2450	10000
寄附金	15000	—	通信費	8850	20000
会費	60600	60000	繰越金	36628	—
活動収入	34399	—	その他	—	6628
合計	255171	266628	合計	255171	266628

52年度活動

学習会 毎週木曜日 6:30PM~8:00PM

横須賀市身体障害者福祉センター(深田台38)ろ榎ホール

内容 初心者 初めての人に対して、手話とは、ひまわり会とは、又自己紹介の方法等、基本的な内容

初級 手話の基本単語

中級 文章を手話に変える学習、逆に手話を文章に変える学習、その他手話、ろう者等に関する内容

その他活動

交流活動

研修活動

5-29 米塚交流ソフトボール大会	4-28 定期総会
6-26 劇団“蒼い群”演劇協力	4-24 手話劇発表
7-24 海水浴(三浦海岸)	5-22 身体障害者スポーツ大会(県)
7-16 県青少年会館夏まつり参加	5-8 第1回 合宿
8-11~14 戸隠高原 キャンプ	6-26 身体障害者卓球大会(県)
9-25 フィールドパスレチック	8-19~21 全国手話通訳者研究討論会 (福島県8名参加)
9-18 ソフトボール大会	9-24~25 第2回 合宿(初心者対象)
12-22 クリスマス会	10-30 手話まつり(手話劇発表)
12-31 歩こけ会(中央駅より野比)	12-10~11 第3回 合宿
1-1 初日の出を見る会	12-15 “底辺より撃て” 著者村松氏講演
1-29 スケート(ファミリーランド)	12-11 ろくめ会館設立署名運動

53年度活動

学習会 会場、時間は前年と同じ

その他活動 実施時期、方法等は新役員に一任

しあわせ課

上記活動内容等 詳しい事を知りたい方は 横須賀市役所 0468-22-4000 黒崎 順子まで連絡の事 53.5.1 発行

発行日

昭和53年3月23日

発行責任者

名畑 裕

ひまわり

在 幸川 聾手話指導者
養成講習会

一月十一日から三月二十二日まで 毎週水
曜日 神奈川県立藤沢青少年会館で
行われました。 ひまわり会からは 戸高洋
充・角谷ひふみ・壺尾あかね・千賀房江・野毛
令子・以上五名の人が参加しました。

講習会の目的

聴覚 音声及び言語機能障害者(以
下「聴覚障害者等」という)の福祉に理解
と熱意を有する者に 聴覚障害者等の
コミュニケーションの手段である手話技術を修得
させ、もって聴覚障害者等の福祉の増進
に寄与することを目的とする。

参加して

講習会に参加しまして、私自身感じました事
は、現在ひまわり会に於いて教わる立場の者以
上に、教える立場又はバッチ子をお持ちの方々の
参加が望ましいと思いました。毎回への出
席でははく順番を決め教回開かれていた期間
中一度の出席で、一人いくつかの単語を覚え
たとし、ひまわり会で勉強会を開いたらいか
がでしょうか。講習会の目的がバッチ子を取
る以外の目的であるならば、講習会とは一体は
んであろうか、と考えてみて下さい。
(K)

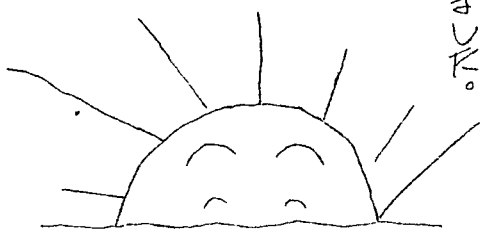
講習会に出席して最初に感じたことは、手話の
勉強不足です。手話を始めてこの一年、自分は何を
学んできたのだろうかと考えさせられました。日常
的の言葉を手話に表わすことができない、その教
の多さに気がついたりあきれられる次第です。難しい言
葉も、その意味を取って簡単な手話で表現
できるのですが、自分にはその簡単な手話があ
まりにも知らずすぎたという事、これはどうの
者との会話に於いても手話で表わされる単語が少
ない為に話しの範囲が狭くなっていくのだと思
います。今後は手話を表わせる単語の絶対数を増
やす事を中心にして勉強をして行きたいと思いま
す。今までの事によってどうあつても手話も深く、深
くは、てくると思います。今回の講習会では
バッチ子試験は受けませんでした。自分を見つめ直
す意味において、いろいろと有意義でした。
(T)

新年をむかえて

新年早々の活動として、初歩きと日の出を見つ会
を行っていました。元旦の午前一時中央駅から野比海
岸までおよそ二十キロを歩き通すつと意欲に燃え
た十五名がスタートしました。走水・観音崎・
浦賀・久里浜を経て七時全員が無事野比海
岸に到着。すでに準備ができていたけんちゃんとい
あでんで、つかれたい身体をあたためました。あいたく
前日の雨で海が荒かかってくる大層を見ることは
ありませんでしたが、腹のさかまからさし込で目ま
しめたいへん美しいものでした。二十キロを歩き通

した人も、寒い海岸で、食べ物を用意し待
っていた人も、とにかく素晴らしい新年の
幕明けとなりました。

まだ一月二十九日の日曜日には、小田急フ
ミリーランドでスケートを行いました。参加
者は子供五人を含めた四十八名。現地では
全員が記念写真のあと待たれていたので横
べり始めました。技術の差は様々でしたが、み
んが水が凍り止まりました。昼食のあとは
スケートにあそびジェットコースターやおぼり
屋敷などであそんでいる人もありました。
最後で全員でゲームをして、一路横須賀
へ。道路が込んでせいで予定より多少お
くれましたが、けが人もなく無事到着しまし
た。お天気に恵まられたいへん楽しい一日を過
ごしました。



ひまわり会の歴史（その誕生まで）

S40年頃の県下における手話サークル数及び手話人口は、今日の手話ブームから思えばまさしく細々としたもので、手話を知っている人と言え、ろう学校の先生からろうあ者の家族ぐらいで、より多くの健聴者に手話を広めていくことにはかなりの困難を予想させたものです。しかし、ろうあ者の粘り強い要望もあり、とりあえず公的機関の窓口職員、ろうあ者の親などを対象に県主催で、各地で何回か手話講習会が開催される運びとなりました。

とは言っても予算も微々たるもので、本市においては月1回2時間の講習会だけであった。ひまわり会設立の母体となったのは、この月1回の講習会に出席していたろうあ者、健聴者総勢約20名くらいであった。

この講習会は汐入の勤労会館の隣りに社会福祉会館く1階に点字図書館があり、他には肢体不自由児の訓練会場などがあつた。が建っていたが、この2階の一室を借りて、講師には丸山浩路氏を連れて行なつた。

テキストは先生が作成し、それを中心に学習をすすめた。その会館は木造の古い建物で部屋も暗く、集っている人達もわりあい年輩の人達が多かつた。その部屋の壁には、

あなたのランプを今少し高くかかげて下さい。

めぐまれぬ人達のゆくてを照らすために。

ヘレンケラー

という言葉が書かれていた。

講習会が終ると、汐入の“みまっ”という喫茶店に集つてダベリングをしたものです。その頃中心となつてしたのは、S45年4月に正式にひまわり会が発足する際の初代会長となつた座間美恵子さん（現姓 日比野）や現会長名畑裕さんなどでした。そのうち、県主催のこの講習会もいよいよ終つることになり、それまで“月1回”でも集つて手話を勉強していた健聴者にとっては、このまま講習会終つるとともにこの集りを解散するのは、せっかくこれまで覚えた手話を忘れてしまうことになるし、月1回と言わずもっと数多く集つて勉強したいという声が強く、又ろうあ者にとっては、これまで社会の人達の中にあつて、いつも精神的に解放されることのない毎日であつたが、この講習会で手話を知っている健聴者に会つて、手話で話しかける素晴らしさを忘れがたく、もっともっと多くの市民に手話を広めて、ろうあ者の立場を理解してもらい、ろうあ者の良き友人になつてほしいという気持ちから、この講習会を発展的に解散して新たに、“手話サークル”を設立して毎週1回、ろうあ者と健聴者が集つて互いに交流しようという気運が高まり、S44年の11月頃から具体的に発足の準備をはじめました。

ヘレンケラー 文中人物の紹介

アメリカの著述家・社会奉仕家。

アラバマ州の軍人の家に生まれ、2歳の時熱病にかかり、目が見えず、耳が聞こえず、口をきけなくなりました。7歳のときから、サリバンという家庭教師につきましました。

サリバンはひじょうに苦勞してヘレンに勉強をさせ、1904年にヘレンは苦勞の身体障害者として始めて、ハーバード大学を卒業

しました。その後1924年には「アメリカ盲人援護協会」をつくり、海外にも講演旅行をし、身体障害者に対する理解と協力を求めました。「私の生涯」「楽天主義の実践」「私の住む世界」などがあります。3回采石してあります。

ひまわり会の歴史（その誕生まで）

S40年頃の県下における手話サークル数及び手話人口は、今日の手話ブームから思えばまさしく細々としたもので、手話を知っている人と言え、ろう学校の先生かろうあ者の家族ぐらいで、より多くの健聴者に手話を広めてゆくことにはかなりの困難を予想させたものです。しかし、ろうあ者の粘り強い要望もあり、とりあえず公的機関の窓口職員、ろうあ者の親などを対象に県主催で、各地で何回か手話講習会が開催される運びとなりました。とは言っても予算も微々たるもので、本市においては月1回2時間の講習会だけであった。ひまわり会設立の母体となったのは、この月1回の講習会に出席していたろうあ者、健聴者総勢約20名くらいであった。

この講習会は汐入の勤労会館の隣りに社会福祉会館（1階に点字図書館があり、他には肢体不自由児の訓練会場などがあった。）が建っていたが、この2階の一室を借りて、講師には丸山浩路氏を迎えて行なった。テキストは先生が作成し、それを中心に学習をすすめた。その会館は木造の古い建物で部屋も暗く、集っている人達もわりあい年輩の人達が多かった。その部屋の壁には、

あなたのランプを今少し高くかかげて下さい。
めぐまれぬ人達のゆくてを照らすために。

ヘレンケラー

という言葉が書かれていた。

講習会が終ると、汐入の“みまつ”という喫茶店に集ってダベリングをしたものです。その頃中心となっていたのは、S45年4月に正式にひまわり会が発足する際の初代会長となった座間美恵子さん（現姓 日比野）や現会長名畑裕さんなどでした。そのうち、県主催のこの講習会もいよいよ終了することになり、それまで月1回でも集って手話を勉強していた健聴者にとっては、このまま講習会終了とともにこの集りを解散するのは、せっかくこれまで覚えた手話を忘れてしまうことになるし、月1回と言わずもっと数多く集って勉強したいという声が強く、又ろうあ者にとっては、これまで社会の人達の中であって、いつも精神的に解放されることのない毎日であったが、この講習会で手話を知っている健聴者にあって、手話で話しができる素晴らしさを忘れがたく、もっともっと多くの市民に手話を広めて、ろうあ者の立場を理解してもらい、ろうあ者の良き友人になってほしいという気持ちから、この講習会を発展的に解散して新たに、“手話サークル”を設立して毎週1回、ろうあ者と健聴者が集って互いに交流しようという気運が高まり、S44年の11月頃から具体的に発足の準備をはじめました。

~~~~~  
ヘレンケラー 文中人物の紹介

アメリカの著述家・社会奉仕家。

アラバマ州の軍人の家に生まれ、2歳の時熱病にかかり、目が見えず、耳が聞こえず、口もきけなくなりました。7歳のときから、サリバンという家庭教師につきました。

サリバンはひじょうに苦勞してヘレンに勉強をさせ、1904年にヘレンは3重苦の身体障害者として始めて、ハーバード大学を卒業

しました。その後1924年には「アメリカ盲人援護協会」をつくり、海外にも講演旅行をし、身体障害者に対する理解と協力を求めました。『私の生涯』『楽天主義の実践』『私の住む世界』などがあります。3回来日しています。

# 丸山先生の講演を終えて

三月四月十三・二十日と丸山先生をお招きし講演していただきましたが、身近な手話の単語からおとぎ話、そしてもっと大きくろうあ者問題、障害者問題へと発展した実のあるものでした。

真の平等とは、障害からくるハンディ・マップを考慮した上ではじめて生まれるもの、サークル活動は、ろうあ者、健聴者の別なく共に学び、成長してゆくためのもの、等、肩ひじはらぬその講演の中に、何か大切なものへ全てのものに対するあたたかい思いやりのようなものでしょうか？を感じたのは私だけだったでしょうか？

今回の講演で得たものを大切に、手話の技術を修得することだけに終わるサークル活動でないようにするために、心機一転頑張ります。

# ろうあ会館について

町のあり二つにある公民館的な施設を想像する人もあるかと思うが、まったく違ったものであると言えらると思う。神奈川県知事が、津田から長州に来て間もなく、長州知事は福祉見なおし論を唱えた。この中で、「ただ施設を建てればよいというものではない」と。その知事が、ろうあ会館を認めたという事は、とりもなおさず、ろうあ者にとってろうあ会館が必要であるということに認めたとして、高く評価できるのではなからうか。長州知事をして、会館の必要性を認めさせたものは何であるか、いくつかに付けて述べてみよう。

（相談所としての役割）健聴者が、いろいろ相談したい。例えば、家を建てたい、結婚したい、子供の教育について、夫婦間のいざこざ等々、改めてどこぞの相談所へというのは、よくせっぱつま、た時に行く事が多い。

ひまわり会  
53.5  
No. 1

出来ないとこの障害は、他の障害とは別の面を考へなければならぬのではないか。聞こえない話が出来ないという事を専門的に学んだケースワーカー、置いて、相談相手のいないろうあ者のアドバイザーになってもらいたいと切に願う。

# 53年度定期総会開かれる

新役員決定

- 会長 名畑 裕
- 副会長 黒崎信幸
- 書記 小松知代
- 会計 丸山房子
- 会計監査 角谷ひみ

52年度の決算、活動報告、53年度の予算案、活動案が承認されました。

くわしい活動計画等は次号で紹介いたします。

10枚の花ひらは  
10本の指、2本の手

のだが、それ以前にはほとんどの場合、近所の親しい人とか、親とか、職場の上司とかに相談し自分なりの方向を見つけてくるものだが、聞こえない、話せないというコミュニケーションに障害があった場合、相談相手は非常にせまってくるのかもしれない。更に障害からくる背景ということも無視できないものがある。普通、物を考える場合ふだん使っている言葉とか目で見たものを基準にするが、ろうあ者の多くが、手話で物事を考える。

また、健聴者のある人は、「裁判所とか、市役所とかへ行って相談すればよいではないか」というけれど、相談ごとというのは、むやみに第三者に知ってほしくない事が多い。裁判所なり市役所なり行く場合は、むしろ手話通訳が必要になる。通訳者が付くのと、手話のわかる人に相談するのは、当事者にとって身近なものとして相談できるかどうかという気持ちの問題がある。

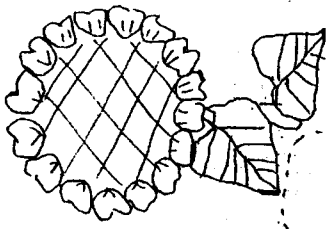
もうもうの問題を総合すると、聞こえない、話か

発行日 昭和53年7月6日

発行責任者 名 畑 裕

ひまわり

夏季特集号



ひまわり

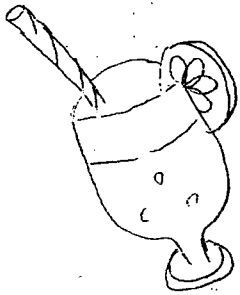
夏——なつ

さあ・夏だ

つとあしいのもあけ 本格的な夏がやっきます。夏バテはんかふまことばし 暑さをのりこえましよう。夏に弱い人も、強い人もどしどし参加して暑いのがんかおれてしまおう。

夏まつり

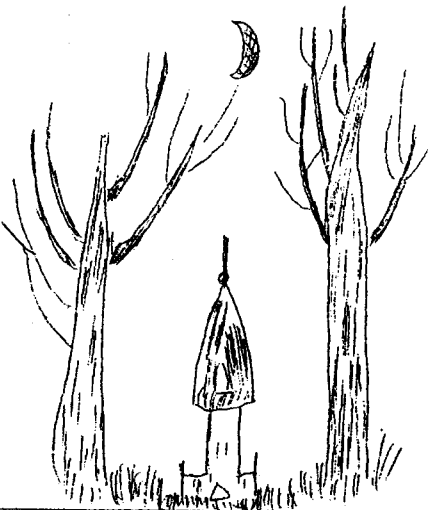
※七月十五(土)・十六(日) 青少年会館主催の、とても楽しいあまつりです。ヨーヨーつりや金魚すくい、あでんやヤキトリ、いろいろなおサークルが工夫をこらしていろいろなおことを行ないます。ひまわり会も去年にひき続いてヤキノバ屋さん。去年は作った人の良きうんで大成功でした。今年もみはさんの積極的参加をまっています。くわしいことは丸山・小松まで。



キャンプ

※八月三日(木)〜六(日)

ひまわり会夏の最大の行事です。うつ協と合同で行はって今年で七回目。暑い補給物をめけて出してさかやかは涼しい場所でのちのせんたく日頃の文化的な生活からナヨッピリ離れて、まきの火にはんごうごほん夜には、たりまっ赤に燃える火を囲んでキャンプファイヤー・花火大会とにわく楽しいことばかりです。あまけに夜行列車やキャンプ地にむかう味はまたかへつはもの。いつもの旅行とはちがって、ロマンチックな気持ちにたれたりして……。



場所・その他くわしいことは後日パンフレットでお知らせします。三日から六日までみはさんの予定をあげておいて下さい。

全通研開催

※八月十九(土)〜二十(日)

第十二回全国手話通訳問題研究会が今年も静岡で行なわれます。いろいろな分科会にわかれ、サークル運営・キッズ通訳、うつあ運動場について話し合い今後の活動に生かしていただきます。ひまわり会からは、7名が参加をします。ひまわり会の発表として行くので、中味の濃い内容を期待し、報告会を楽しみに待たせていませう。

手話まつり

※九月十七(日)

県の方連主催の手話まつりも今年で3回目をむかえます。去年ひまわり会は、手話劇「牛車馬」を発表しました。今年も、鎌倉・遠平・三浦と一緒にやる予定です。内容については全く未定ですので、何かおもしろいもの、ユニークなもの、やってみたいものなどありましたら、役員までどしどし持ってきて下さい。

※付記

会場は 藤沢市市民ホールです。

お知らせ

その一、去る三月五日神奈川県キ話サークル連絡協議会が設立されました。これにサークル間の連絡を密にしお互いに助け合いあきらめから活動していくことを目的とし設立しました。

その二、手話指導者研協会があります。七月九(日) 平塚市社会福祉会館・時間午前十時〜午後四時・テーマ「うあ者の生活Ⅱ」。八月十三(日) 小田原福祉センター 時間「午前十時〜午後四時」テーマ「福祉行政の目的と内容」

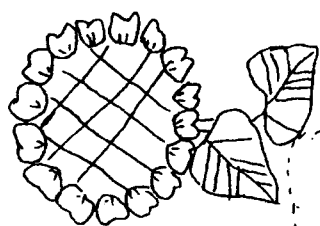
新入会員紹介

五月〜六月

- 長田(あさひ)さん・石井さん
  - 一ノ瀬さん・岩田さん・多田さん
  - 長谷川さん・根田(あさひ)さん
  - 馬場(まが)さん・原田さん
  - 小池さん・岸さん・高橋さん
  - 小田さん
- 以上  
よろしく!!

発行日 昭和34年8月17日

発行責任者 名畑 裕



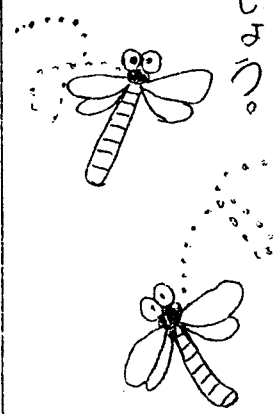
8月号

# ひまわり

キャンパ  
だより

ひまわり会、ろうあ協会  
恒例のキャンプも終わりました。ろうあ者九名、健聴者十七名と参加人数は多くはありませんでしたが内容は素晴らしいものでした。一番心配していた天候もみんなの身持ちが空の神様に通じたのか快晴続き。朝夕はやっぱり寒かったですけれどもさわやか。山登りはチョビリ疲れたけれど山頂から見おろす風景は、ほんともいえず気分爽快、いろいろは妙形容があてはまっています。全体を通しての感想として、寒かったですし疲れたけれどぜひまた参加したい。山に登りました。

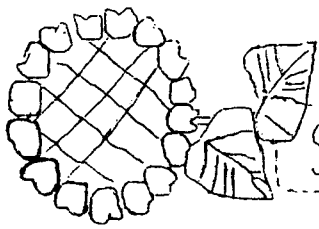
いとい、た音が多くありました。また責任者の岩本さんや由井さんは「ろうあ者、健聴者がさっ、かけをみつければ話してくれたい、き話をまらびえるところうあ者が積極的に教えていたことは非常に良かった、これからはぜひ続けたい」と話していました。細かな反省点はいくつかあるけど、みんなが楽しめ最後まで一緒に行動できただけで大成功だといえるでしょう。今年参加できなかつた人は来年も「素晴らしいキャンプができるよう頑張りますよ。」



覚えていきますか?  
—手話まつり—  
先月号でお知らせしたように九月十七日に藤沢で行われます。神奈川県を七つのブロックに分けいろいろな出し物を発表していきます。今回は各ブロック五十分づつ（手話劇三十分）のうち十分、弁論十分）です。県内の手話サークルが一同に集まります。ひまわり会とは違った手話表現が見られるかもしれません。九月十七日、覚えておいて下さい。  
海水浴  
去る七月三十日津久井英の海で海水浴とバーベキューを行っていました。参加者は

ろうあ協三十人、ひまわり会二十二人でした。台風の影響で波はちよと高かったけれど、泳いで食べゲームして楽しい一日を過ごしました。  
お知らせ  
今週の日・月(十三・十四)の二日間栃木県が開かれた日本手話学術研究会に瓜生さんが参加しました。内容に興味のある人は、どんな質問して下さい。  
ひとことひとこと  
立秋も過ぎますがに朝夕は秋のけはいが感じられるようになってきました。真夏のはんとなくだらけた気分から脱して、シヤンとしはくちや、こつ考えているのはおだけかナ、……?

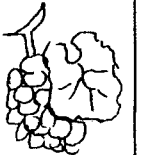




# ひまわり

## 秋だ

秋が来た



記録的は暑さが続いた夏

も去り、勉強にスポーツに

最良の時機にはりました。

今までポロっとしていた人

は動きやすく、活動してい

た人はさうに活発に日れる

と思います。

## スポーツの秋

※バレーボール大会

十月十五日(日)坂本中

学校体育館で行われます。

坂本中学校前に午前九時集

合です。

※ソフトボール大会

十月二十九日(日)バシ

ーと同じく坂本中学校で行

われます。午前八時に中学

校に集合です。

どちりも地区別で行ない

ます。

(地区)

・北部(吉倉一園道16号)

いー道英)

・上町(平坂・上町・佐野

・衣笠(坂本・池上・衣笠

公卿)

・西部(武山・林・長井

・市外

・浦賀(大津・馬場・鴨居

・久里浜(森崎・久里浜

・下町(池見・汐入・本町

・市外

以上の八チームに分けて

一対一、戦う行われます。

自分の家の近くにどの日

うあ者が居るか、どんな健

勝者が居るかお互いに知り

合っまわくのも良い事だと

思いますよ。

エッジ「リーグがネット

までとどかかいい」「ボール

がバットにあたらはい」「

せんはこと身にする必要あ

りません。参加する事に意

義があるのです。技術は

んか身にせうにみんなが楽

しい一日を過しましょう。



食後の秋だから、食べ

まばかりは体に毒です。ス

ポーツで汗を流した後のお

べんどうもこたえられはい

味ですよ。

## 「学」習の秋

現在ひまわり会は初級・

中級に分かれて学習会を行

わっています。最近の内容

を少し紹介します。初級は

基本単語・中級は、全通研

の報告書をもとに、手話通

訳者のあり方、ろうあ者の

要求する通訳とは何か、は

ど毎回熱心に討論が交わさ

れています。内容的には手

話の難かしい事もあり

ますが、私達が手話を学び

ろうあ者と共に運動してい

く以上をける通訳は問題

ばかりです。今後も当分の

間続ける予定です。

人たちが一回ぐらいは参加  
してもいいのではいいかと  
思います。

## 読書の秋

みはさんは日頃本を読ん

でいますか。読んでいる人

は月に数冊読んでいますし

うが読まない人は、全く

本から遠ざかっているので

ははいましようか。まして

ろう運動やろうあ者関係の

本とほるとほとんどの人が

……。今、団体連絡室

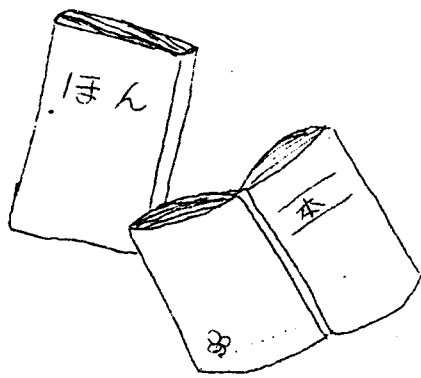
のロッカーに数冊本があ

いてあります。みはさん自

由に読んで下さい。それほ

ど難かしいものはありませ

んかう。



## 報告

先月号でお知らせした通

り第三回神奈川県手話まつ

りが藤沢市民会館で開催

しました。ひまわり会も手話

コーラス・戦争を知りたい

子供達」を発表しました。

会からの参加者ばかりはか

たので心配していましたが

当日見に来たろうあ者六人

が急きよ衣後で一緒にステ

ージに立ってくれました。



期間が短かったために

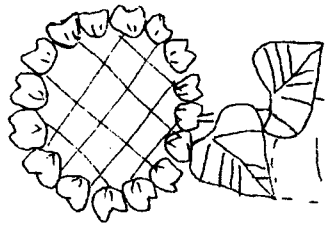
はどのブロックも熱演で、

お腹をかかえて笑いこらげ

る場面もしばしば。来年は

もっと多勢の人に見に行

てもらいたいと思います。



10月号

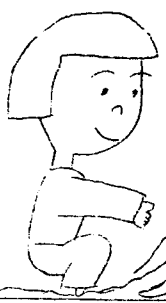
# ひまわり



## ぶどう狩り

### に行っただよ

この秋は、ちよと動くと汗ばんでくる様な良い天気の日。十月一日、ろうあ協会と一緒になど狩りに行きました。健康者二十人、ろうあ者三十四人と予想以上の参加者。バスは目的地までおぼろげに迷いましたが、現地では昼食のあとぶどう狩り。生まれ初めの本物のぶどう畑を見て感激したり。バスに乗っている時間が長く、夕日。夕日疲れたけれどお日様に恵まれた楽しい一日でした。去年はみかん狩りや、くり拾い、いも掘りなどの声がありました。さあ何なるのでしようか。



## みごと

### 市外チーム優勝

去る十月十五日に坂本中学校体育館でバレーボール大会が行われました。外はあいにくの雨模様。寒い一日でしたが体育館の中は熱気があふれ元気いっぱい。試合が展開されました。決勝戦は圧倒的打撃で勝ち進んできた下町チームと三崎のともしび会を中心としたチームのあるバレーを行なう。また市外チームの間で争われました。接戦が予想されましたが市外のみごとが下町を圧倒。みごと優勝を手にしました。

参加者のいくつかの感想を拾ってみると、久しぶりに身体を動かしたのが疲れた。お日様を浴びました。たのしかったです。お日様を浴びました。あまりにうれしかったです。あまりに手に汗をかいたが楽しかった。良かった。たんじやないですか。またやりたい。

## 専ら

今度は十月二十九日にフットボールがあります。バレーボールに参加できなかった人もぜひ参加しましょう。



## ろうあ者福祉

### 大会終わる

十月二十二日の日曜日、第二十二回神奈川県ろうあ者福祉大会が逗子市体育館で開催されました。大会は全県からろうあ者や手話を学んでいる健康者約五百名の参加があり、講演や福利、大会決議、アトラクションなど、盛りだくさんの内容で行われ、大会の開催地である藤沢と逗子市の堅い握手で幕を閉じました。

来年度からろうあ者センターの建設が本格的に進められます。この進めかけに

この大会が、ろう運動がさらに大きく発展していくことを期待しながら帰りました。

それにしてはひまわり会の健康者の参加が手伝の二名以外居なかったのは非常にさびしい気がしました。

※ 来年度下旬に全国ろうあ者大会が横浜で開催されます。それまでに手話はもうろん、ろうあ問題、運動について少しは考えをみましょね。



## 新しい仲間

吉本さん・岩崎さん・宮本さん・佐藤さん・寺田さん・仲田さん、よろしくお願ひします。

## ろうあ者

その障害は、情報の流入が極度に制限される「情報障害」とも言える。聞かざる者に、話すことへの第一歩は聞くことからの出発。ほとんどの日常的な生活情報は耳を頼っている。そして、一般的の生活システムは、この聞かざる者にあわせて成り立っているからである。一歩、ろうあ者運動。一歩、ろうあ者テレビ。より

「三ツウナラをする時必ず握手を求めあの人。帰日には今日一日の思い出と又会おうの気持ちを持って。そっと握るあの人の手。大きく握るあの人の手。あの人の手。楽しい思い出握手に二め。三ツウナラをするあの人。」



# クリスマス会

横須賀ろうあ協会 共催  
ひまわり会

58年

- と き 12月24日(日) 午後3時より6時まで
- ところ 市障害者福祉センター 3階 ホール
- もちもの かしせんと交換をしますので 500円前後(手づくりの物でも可)のかしせんとをもって下さい
- はいより ゲーム アトラクション その他

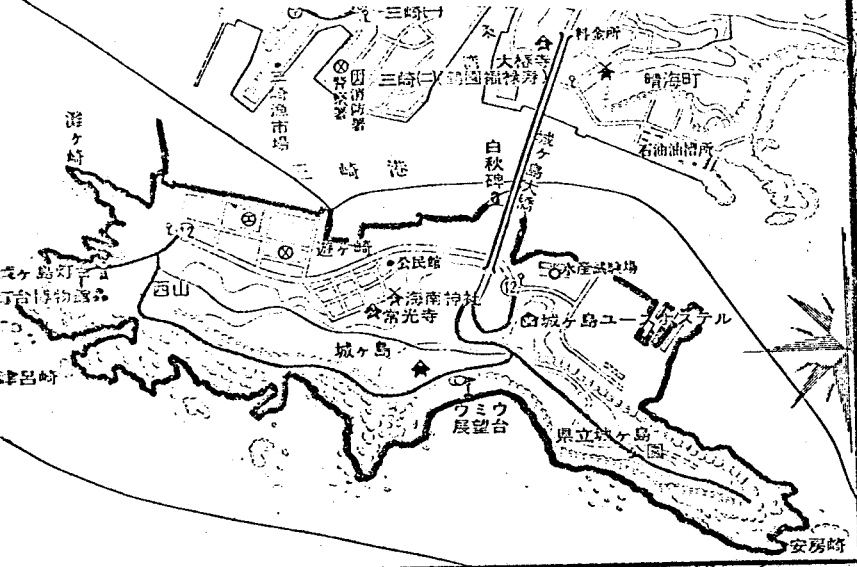
---

有志により1月2日新年会を予定しています  
希望者は 名畑、飯島、小松まで!!

53.12.21.40

# 初日の出を見る会

# 歩こう会



## <歩こう会>

集合時間 1月1日午前0時

集合場所 京急横須賀中央駅

中央駅0時半出発

城ヶ島6時半到着予定

## <初日の出を見る会>

☆ 城ヶ島の現地に6時半までに集合

☆ 現地にてナバ料理かぶせていきます

☆ もち3ヶを持参の事

ひまわり会 ちゅうあ協会

三浦手話サークル ともしび会 (共催)

うらにフック

|   |         |    |    |
|---|---------|----|----|
| 1 | クリスマス会  | 参加 | 欠席 |
| 2 | 歩こう会    | 参加 | 欠席 |
| 3 | 日の出を見る会 | 参加 | 欠席 |

名前

住所

電話

# 53年度活動報告

学習会 毎週木曜日 PM6:30~PM8:00

初級 - 「私たちの手話」を基にしたテキストで基本的な単語の学習を行なった。

中級 - 前期、毎週司会者を決め、一つのテーマで話し合う  
 例 '嫌煙権' について  
 '障害を持つ子どもを殺した母親' について

中期、全通研の報告書を基に通訳者のあり方、'良い通訳者とは'、等話し合い又模範通訳を行なう。

後期、テキストを使い、短文を練習

研修活動

9月17日(日) 神奈川県手話まつり(藤沢)  
 手話コース「戦争を知る子ども達」

9月22日(日) 神奈川県手話講習会(逗子)

11月 (木) 丸山浩路氏手話初級 初心者対象

11月8日(木) 丸山浩路氏手話初級 (市川会館)  
 テーマ「ボランティアとは」

交流活動

6月25日(日) 米軍との親善ソフトボール大会 参加者 50名

7月15・16日 青少年会館主催「夏まつり」参加

8月3日~6日 キャンプ (長野 白駒の池)

10月1日 ふどう狩 (山梨 勝沼)

10月25日 カーバレーボール大会 (坂本中学校)

12月24日 クリスマス会

1月1日 初歩き (中央~城ヶ島) 参加者 56名

" 日の出を見3会(城ヶ島) 参加者 56名

2月25日 スケート (小田急ファミリーランド) 参加者 38名

# 53年度 会計報告書

| 収入の部   |          | 支出の部   |          |
|--------|----------|--------|----------|
| 前年度繰越金 | 36,628-  | 活動費    | 31,440-  |
| 市補助金   | 70,000-  | 研修費    | 87,750-  |
| 社協補助金  | 100,000- | 通信費    | 29,390-  |
| 会費     | 70,900-  | 交通費    | 980-     |
| 入会金    | 2,300-   | 会議費    | 6,600-   |
| 活動収入   | 24,534-  | 事務用品費  | 45,675-  |
| 預金受取利息 | 884-     | 備品費    | 50,100-  |
| 県社協    | 30,000-  | 会費     | 2,000-   |
| 計      | 335,246- | 積立金    | 50,000-  |
|        |          | 立替金    | 8,045-   |
|        |          | 次年度繰越金 | 23,261-  |
|        |          | 計      | 335,246- |

上記会計報告誤りありません

会計監査 角谷ひふみ

会計 丸山

# 昭和54年度活動予定(案)

# 昭和54年度予算(案)

## 学習会

初心者 手話の説明、ひまわり会の説明、自己紹介程度の手話の学習(1回)

初級 基本単語の学習、基本文章の学習(3~6ヶ月間)

(中級)  
(上級) 文章を手話に変える、手話の読み取り、テーマを持ちよって話し合う、その他の方法、

## 研修活動

各種研修会への参加  
講演会の開催  
全国通訳者会議、県手話指導協、手話サークル協への参加  
一日(泊)研修会の開催 その他必要と認める活動

## 交流活動

ひまわり会会員、ろう協、父母の会、他サークル等との交流活動

## その他

創立10周年記念文集の作成  
その他必要と認める活動

## 収入

|           |         |
|-----------|---------|
| 横須賀市より補助金 | 70,000  |
| 横須賀市社協補助金 | 100,000 |
| 会費        | 71,000  |
| 前年度繰越金    | 23,261  |
| ◇ 立替金     | 8,045   |
| ◇ 積立金     | 50,000  |
| 合計        | 322,306 |

## 支出

|          |         |
|----------|---------|
| 研修活動費    | 100,000 |
| 事務費 備品費  | 70,000  |
| 通信費      | 30,000  |
| 会議費      | 20,000  |
| 10周年記念行事 | 100,000 |
| その他      | 2,306   |
| 合計       | 322,306 |